平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

	事務事業		心身	障害者医療	扶助誓	 事業					担当	当部	健康社	福祉部	
	会計区	分	一般:	会計			事業	類型	法定员	受託系	担当	当課	保険年	年金課	
	事業期	間	平月	成12年度以	前	~	平	成30 ⁻	年度じ	人降	担当	当係	医療係	系	
	総合計画	主目的	3	保健福祉		11 地域	医療		5	国民健康	 張保険事業	•公費助	成医療の記	適正な運営	を図る
	分野別計 画	副目的		14-1											
	予算区	分	款	3	項	1	目		3	大	3	3	中	2	
	根拠法令・個	別計画	小牧i	市医療費の	支給に	こ関する条例	列								
	16 VE		0	市が直接実	€施•選	重営		地域化	住民組	1織		一部	又は全	部委託	E
事	実施·運 方法			指定管理・	外郭回		名称:	:							
				NPO・そ	- の fl	<u>t</u>	名称:	:							
業															
	目的 (対象をど	の様		いのある方の										ナられる	5よ
の	な状態にす か)	-るの	うにす	するとともに、	心身	障害者又は	:その家	家族の	経済的	内負担	の軽減	ずを図	る。		
概					_			_				_			
			l		_	·= > == a45 146 1	·			1	: / 				• •
要				障害者手帳 が50以下の											
			行った	た。県内医療 診、補装具等	機関	における保	険診療	での自i	己負担	旦分は	現物給	付で、	、県外[医療機	関で
	内容 (手段)		の療	養費の支払	いも同	同様に助成を	そ行った								
	() ()		調整を	を行い、医療	養の	適正化を凶	った。								
				身障がい者の 給付分の審										る。また	た、
			シエヤショ	でで いい はい	且又了	ム十数秤に	J., C	、 木//	1/ 2, 1	/۱ ٬۵/ (۱۱	7で 只	.1 <u>ല</u> 9 ര	Ŋ°		
	受益者負	担		内容											

				単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額
		直接	経費	千円	211,395	220,870	255,694
		丁聯号	従事者数	人	0.50	0.30	0.30
⊐		正職員	人件費	千円	2,682	1,609	1,609
	費用	スの仏啦号	従事者数	人	0.10	0.10	0.10
ス	,13	その他職員	人件費	千円	151	119	332
		費用	合計	千円	214,228	222,598	257,635
1		対前	年比	%		103.9	
		一般	財源	千円	114,580	116,619	134,020
	財源	国・県	支出金	千円	99,648	105,979	123,615
		その他	也財源	千円	0	0	0

		活動指標名	単位		H21	H22	H23
		受給者数	人	目標			_
	活	文和有效	^	実績	1,488	1,495	
2114	活動指標	受診件数	件	目標			_
業	標	文的干奴	П	実績	33,953	33,221	
				目標			
				実績			
績		成果指標名	単位		H21	H22	H23
	成	受診件数	件	目標			_
	成果指標	又形什奴	П	実績	33,953	33,221	
	標			目標			
				実績		_	

	事業目的の 達成状況	受診件数は、減少しているが、直接経費が増加している。心身障がい者の医療費自己 負担分を助成することにより経済的負担が軽減され、必要な医療が受けられている。
事業の自己評	事業を廃止・ 休止したとき の影響	心身障がい者の医療費の自己負担分を助成する事業が他にないため、経済的負担が 重くなり、必要な医療が受けられなくなる危険性がある。
価	判 定	B 市が実施(改善が必要)
(一次評価)	判定理由	療養費や償還払いの申請書の審査事務を専門機関に委託し、より適正な医療費の助成が必要である。また、入力作業も業務委託することにより、効率的に業務がすすめられる事から改善が必要と判断した。
	今後の事業 の方向性 (今後の取組 み・改善計画 等)	平成23年度から柔整、鍼灸等療養費や償還払い申請の審査事務を業務委託して、より 適切な医療費の助成を図る。

=	判	定	В	市が実施(改善が必要)		
次評価	判定	理由	一次評価の) とおり	•	